

基本方向 5

**働きやすく住み良い農業・農村**

働きやすい生産基盤と、安全で災害に強く、住み良い農村の実現に向け、持続的な農業生産と、農村地域の利便性や快適性の向上を図るため、農業生産基盤と生活環境の整備を総合的に進めます。

**1 農産物の安定生産に向けた基盤づくり**

(1) 農業水利施設の適切な維持・更新・整備

- 基幹的な農業水路施設などの長寿命化対策
- 老朽化したパイプラインやポンプ等の計画的な補修・更新
- りんごのわい化栽培への転換促進等のための畑地かんがい施設の整備

(2) 担い手等への農地利用集積を促進するための土地基盤整備

- 地域の実情に応じた簡易な区画整理などの基盤整備の推進
- 暗渠排水や排水路の整備による地下水低下対策

(3) 施設の長寿命化に資する適切な維持・管理体制の構築

- 機能診断から予防保全対策、更新整備までを一貫して実施できる仕組みづくり
- 農業者や地域住民、NPOなどが参加する地域が一体となった維持管理体制の整備



畑地かんがいで潤うはくさい畑

【主な達成指標】

項目	平成 17 年実績 (H13 ~ H17)	平成 24 年目標 (H20 ~ H24)
基幹的な農業水利施設の更新延長	34km	55km
畑地かんがい施設の整備・更新面積	677ha	870ha

**2 住み良い農村づくり**

(1) 農業用水の多面的な役割の維持・発揮

- 自然石などを用いた生態系や景観に配慮した水路・ため池整備の推進
- 地域住民の自らの発意と協働による直営施工の促進
- 多面的な役割に配慮した工法選定における理解の醸成

(2) 利便性や快適性の向上による住み良い農村の実現

- 中山間地域等の農業集落内や集落間を結ぶ道路整備の推進
- 農道整備による農産物の輸送の効率化や農村の定住条件の改善

(3) 地域資源や立地条件を活かした農村づくり

- 棚田の保全活動や農業体験等を核とした都市住民との交流促進
- 「棚田百選」認定箇所などの地域独自の取組、農村の歴史や伝統文化の継承活動への支援と情報発信
- 農業用水を活用した小水力発電の普及に向けた調査研究や実証実験の実施



水田地帯を貫く農道

【主な達成指標】

項目	平成 17 年実績 (H13 ~ H17)	平成 24 年目標 (H20 ~ H24)
生態系や景観に配慮した水路の整備延長	14km	20km
直営施工の実施箇所数	74 箇所	100 箇所
中山間地域での農道等の整備延長	98km	120km
小水力発電の調査研究・実施箇所数	1 箇所	10 箇所

**3 災害に強い農村づくり**

(1) 農業用ため池等の補強による安全な農村づくり

- 貯水機能や取水機能が低下している農業用ため池の計画的な改修
- 防災上対策を講じる必要がある頭首工や用排水機場等の計画的な整備・更新

(2) 地すべり防止対策工事による安全な暮らしを確保

- 地すべり防止区域における水抜きボーリングなど地すべり防止対策の実施
- 地すべり防止施設の点検・調査体制の強化と機能が低下した施設の計画的な補修

(3) 水田や水路が持つ国土保全機能の維持

- 中山間地域の実情に即した農地や農業用水路の保全・改修の促進
- 中山間地域に点在する棚田を地域住民と協働した維持・保全
- 急傾斜地の山腹に築造された農業水路の改修の推進



満々と水を貯えるため池

【主な達成指標】

項目	平成 17 年実績 (H13 ~ H17)	平成 24 年目標 (H20 ~ H24)
農業用ため池の改修箇所数	23 箇所	50 箇所
地すべり防止施設の補修箇所数	2 箇所	20 箇所
山腹水路等の改修箇所数	82 箇所	200 箇所